

中江藤樹記念館通信 ⑮

「改めて」

中江藤樹&中江藤樹記念館
 (令和七年度 新施設開館予定)

理事 武田 基裕

■近江聖人・日本陽明学の始祖

中江藤樹は関ヶ原の合戦の八年後、慶長十三年(一六〇八)に小川村(現在の安曇川町上小川)で生まれました。両親は農民でしたが、九歳の時に鳥取の米子藩に仕える祖父の養子となり、故郷の小川村を離れ、藩主の転封(御国替え)に従い四国の大洲(現在の愛媛県大洲市)に移った十一歳の時に学問の道にすすむ志を立てました。

勉学に励んだ藤樹は同輩にも教えましたが、二十七歳の時、郷里の小川で母親が独り住まいの身となったため、大洲藩主に辞職を申し出ましたが叶わず、母への思い止み難く脱藩帰郷しました。藤樹を慕って多くの者が続々と教えを受け、近江の地を訪れたのは



近江聖人 中江藤樹記念館

藤樹自身が惹きつける魅力に溢れた人物であったからでしょう。母に孝養を尽くしながら学問に励んだ藤樹は門弟を

同志と呼んで共に学び、また、村人に分け隔てなく接しましたが、慶安元年(一六四八)、病氣(喘息)のため四十一歳の若さで生涯を終えました。

藤樹はわが国で最初に聖人と呼ばれた人物であり、明代の王陽明(二四七二〜一五二八)の思想に共感し、自らの学問を築いたことにより日本陽明学の祖とされています。

安曇川町上小川の藤樹神社北側にある「近江聖人中江藤樹記念館」は、中江藤樹生誕三八〇年を記念し、昭和六十三年(一九八八)に開館しました。コロナ禍のここ数年間は入館者数は減少しましたが、以前は年間一万人を超えるほどの入館者で活況を呈していました。コロナ禍前には戻りませんが、昨年度から入館者数も徐々に元に戻り始めました。日常の来館者への丁寧な展示物等の説明により、リピーターの方々もたくさん訪問されます。

■改修後、新たな施設へ

さて、ご存じのことと拝察しますが、中江藤樹記念館は令和六年度に改修リニューアルを行い、令和七年に新たな施設となります。

中江藤樹記念館は、中江藤樹に関連する遺品や遺墨、関連書籍などの収集、保管を担ってきた機能の他に、これまで高島歴史民俗資料館、朽木資料館、マキノ資料館が担ってきた市内からの出土品や歴史資料、美術工芸品などをはじめとする、高島の歴史文化を紹介する展示機能を新た

に加えた施設としてリスタートします。

高島の歴史文化を学びに来られた方々に、改めて中江藤樹を知って頂く出会いの機会にし、中江藤樹が生まれ、その教えが育まれた高島の歴史文化のすばらしさをお伝えできる施設にするなど、より多くの皆様に満足いただける様な施設にしたいと思えます。

このことから、令和六年度の改修リニューアルに伴い、当館を利用される皆様には大変ご迷惑をお掛けすることとなります。ご理解とご了承をいただきますようお願い申し上げます。

(引用:「良知館」リーフレット)

賛助会員一覧

★新規賛助会員のご紹介

令和五年十二月末日までに、ご加入いただきました賛助会員をご紹介します。ご加入ありがとうございます。

○伊丹製薬株式会社

(高島市今津町下弘部)

★既加入の賛助会員一覧

ご協力ありがとうございます。

- ウエストレイクホテル可以登楼
- 税理士法人 淡海総合会計
- 大津公証人会 白髭博文
- 大溝工業株式会社
- 株式会社 大山建設
- 岡本アルミ建材株式会社
- 川島酒造株式会社
- 川島織布株式会社

- 有限会社 クリエイト・マエダ
- 株式会社 Growls
- 株式会社 桑原組
- 有限会社 宏和商事
- 税理士法人 小畑会計事務所
- 株式会社 才川食品店
- 佐治タイル株式会社
- 株式会社 澤村
- 株式会社 シグマックス
- 清水安三記念館
- 有限会社 白浜荘
- 新旭電子工業株式会社
- 杉橋建設株式会社
- ソエダ株式会社
- 高島鋳建株式会社
- 田中マネジメント事務所
- 株式会社 TADコーポレーション
- 鉄屋商事株式会社
- 寺子屋まなごし童心塾
- 有限会社 天平フーズ
- 株式会社 戸井薬局
- とも栄 藤樹街道本店
- 株式会社 ナカサク
- ナカシヨウ 株式会社
- 株式会社 中田運送
- 株式会社 中村測量設計
- ニツケイ工業株式会社
- 八田建設株式会社
- 有限会社 馬場塗装
- 富士包装紙器株式会社
- 戸次会計事務所
- 株式会社 ホリゾン
- 有限会社 丸三旅館
- 株式会社 ミツホ工業
- 株式会社 森下工業
- 株式会社 ヨシダヤ
- 株式会社 リンクス
- 有限会社 綿庄食品店